

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	言語工学特論		
英文授業科目名	Topics in Natural Language Processing		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報工学専攻		
担当教官名	古郡 廷治		
居室	西9-719		

公開E-Mail	授業関連Webページ
furugori@cs.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
自然言語を理論（言語学）面と情報処理（システム）面から学ぶ。非数値データとしての言語の特性とその計算処理上の特性を把握する。

【前もって履修しておくべき科目】
高級言語によるプログラミング科目 データ構造

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
なし

【授業内容とその進め方】
<p>最初に言語に関する理論的な知識と処理上の諸問題を解説する。個別の言語技術や言語処理システムを理解する。</p> <p>講義は、理論的なものとしては、記述言語学から今日までの言語学の変遷、文法理論、文と文章の構造、意味論、知識の表現などを含む。技術的なものとしては、言語処理の歴史、単語処理、文法分析（パースィング）、意味分析、コーパスを使っての言語現象の解明、要約等の文書処理、機械翻訳、言語理解、その他に関する言語技術をカバーする。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

1. 言語学の歴史と言語処理
2. 言語処理の歴史
3. 単語処理
4. 文法理論
5. 文法分析
6. 意味理論
7. 意味分析
8. 言語技術の諸分野

【成績評価方法および評価基準】

期末試験。

【オフィスアワー：授業相談】

通常は研究室にいるので、いる時間ならいつでもよい。

【学生へのメッセージ】